

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3004	(H.24)No.	1222
-----------	------	-----------	------

事務事業名		生活安全協議会費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
企画財政部		危機管理室		田中 浩之	63-7271
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 19 年度 ~ 平成 年度	名張市民の生活安全の推進に関する条例			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	024801
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	生活安全協議会費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	防犯対策費	生活安全協議会費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張市生活安全推進協議会に防犯部会、防災部会及び交通安全部会の3部会を設け、部会ごとの活動の推進を図っています。防災部会は、地域における自主防災活動の取り組みを推進し、防犯部会は、市民の防犯思想を高めるとともに積極的に防犯活動を実施しています。また、組織の円滑な運営と効率的な活動を行うため、3部会相互の連携を図っています。(交通安全部会は、都市整備部都市計画室が所管しています。)</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>市民にとって身近な問題である防災、防犯及び交通安全に、市民や関係機関と一体的に取組むことにより、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 生活安全推進協議会総会 1回 同役員会 2回 防災部会理事会 3回 防犯部会理事会 4回 防災講演会 1回 名張川納涼花火大会特別警戒、八日えびす祭り街頭特別警戒、年末特別警戒(防犯部会) 防災部会研修 防犯部会研修 報償費 68千円 		<ul style="list-style-type: none"> 生活安全推進協議会総会 1回 同役員会 1回 防災部会理事会 3回 防犯部会理事会 3回 防災講演会 1回 名張川花火大会特別警戒、八日えびす祭り街頭特別警戒、年末特別警戒(防犯部会) 防災部会研修 防犯部会研修 報償費 129千円 生活安全推進協議会運営用消耗品費 62千円 		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	直接事業費	68千円	191千円	191千円	191千円	191千円	191千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0) 68	191	191	191	191	191	
人工数	職員	0.31人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	
	臨時職員等	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
概算人件費	(0千円) 3,028千円	3,685千円	3,685千円	3,685千円	3,685千円	3,685千円	
+ 総事業費	(0千円) 3,096千円	3,876千円	3,876千円	3,876千円	3,876千円	3,876千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共消費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	初発型非行数	-	-	-	-	70
	実績		77	55	22	20	
活動指標	目標	防災訓練を実施した地区数(延べ値)	-	-	-	-	530
	実績		105	291	352	456	
成果指標	目標	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合	-	-	-	-	53.0
	実績		56.9	52.9	49.1	52.6	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>・犯罪に対し不安感を持つ市民の割合や初発型非行数は、名張市では減少傾向にあります。</p> <p>・平成23年3月に東日本大震災が発生して以降、市民の防災への関心が高まっており、防災訓練を実施している地区数は増加傾向にあります。</p>	<p>・今後も防犯部会を通じて防犯活動の推進を図ります。</p> <p>・各地域で防災訓練を実施するなど、防災部会を通じて防災市域の啓発を図ります。</p>

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、全国的に防災意識が高まっているため、防災部会を通じて啓発活動を推進する必要があります。また、防犯については、犯罪の多様化、凶悪化が進み、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあることから、防犯部会の活動を強化していく必要があります。</p>	<p>・防災、防犯及び交通安全の各部会の連携や情報共有を強化するべきとの意見があります。</p> <p>・東日本大震災が発生し、地震に対する防災意識が全国的に高まっていますが、防災部会内では、名張市で注意すべき災害は風水害であるとの意見が出ています。</p>

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・ の場合) (4)は の場合
<p>(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p><input type="text" value="できる"/></p>	<p>各部会と各地域との連携強化に向けた情報交換を実施します。生活安全推進協議会から各地域への情報発信力の更なる強化を図ります。</p>
<p>(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p><input type="text" value="できない"/></p>	
<p>(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p><input type="text" value="できない"/></p>	
<p>(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない</p> <p><input type="text" value="ある"/></p>	<p>多くの地域ビジョンにおいて、防災及び防犯に対する記述があります。</p>
<p>(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)</p> <p><input type="text" value="反映を予定"/></p>	<p>地域づくり組織との連携を図り、事業内容について検討を行います。</p>
<p>(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p><input type="text" value="できる"/></p>	<p>各部会での講習会の内容に工夫をこらし、知識・技術の向上を図ります。</p>

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項